

2017年3月期第2四半期

決算説明会

2016年11月16日

株式会社エヌアイディ

1. 会社概要

2. 2017年3月期第2四半期決算概要

3. 2017年3月期通期見通し

4. 株式情報

付録：データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1. 会社概要

会社概要

社名	株式会社エヌアイデー (英社名 : Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区晴海1-8-10晴海アイランドトリトンスクエアX棟29F
設立	1967年（昭和42年）5月
資本金	6億5,335万円（2016年9月末現在）
事業内容	システム開発、情報処理サービス
社員数	974名、（NIDグループ：1,420名）（2016年9月末現在）
発行済株式数	4,369,830株
株主数	1,024名（2016年9月末現在）

事業の概要

当社グループ

連結子会社（3社）

NID・MI

- ・インベデットソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業
- ・フィナンシャルシステム事業
- ・その他事業

NID東北

- ・インベデットソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業

NID・IE

- ・その他事業

当社

エヌアイディ

- ・インベデットソリューション事業
- ・ICTイノベーション事業
- ・フィナンシャルシステム事業
- ・ネットワークソリューション事業
- ・その他事業

＜サービスの流れ＞
・開発ソフトウェア納品
・IT技術者派遣



＜資金の流れ＞

＜サービスの流れ＞
・開発ソフトウェア納品
・IT技術者派遣



＜資金の流れ＞

お客様

＜サービスの流れ＞
・開発ソフトウェア納品
・IT技術者派遣

＜資金の流れ＞

ビジネスパートナー

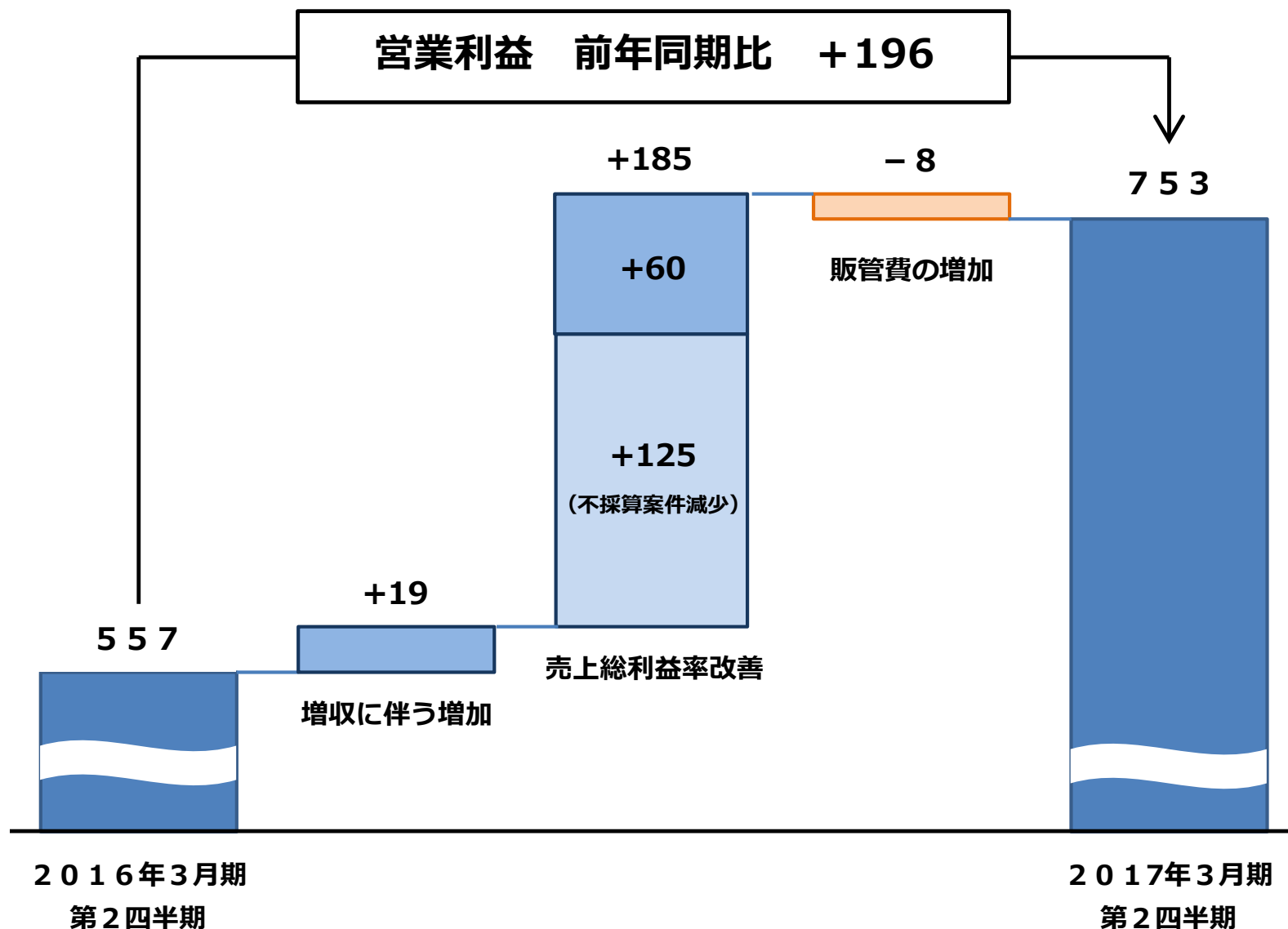
2. 2017年3月期第2四半期 決算概要

2017年3月期第2四半期決算の概況

(単位：百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前期比
売上高	8,154	8,247	+1.1%
営業利益	557 (6.8%)	753 (9.1%)	+35.0%
経常利益	669 (8.2%)	806 (9.8%)	+20.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	464 (5.7%)	538 (6.5%)	+15.9%

営業利益差異分析（前期比較）



連結貸借対照表 / 連結CF

(単位：百万円)

貸借対照表	2016年 3月末	2016年 9月末	増減額	主な増減要因
流動資産合計	10,268	10,396	+128	現金及び預金 +229 仕掛品 +262 受取手形及び売掛金 △297
固定資産合計	3,857	4,017	+159	
資産合計	14,126	14,413	+287	
負債合計	5,083	4,993	△90	
純資産合計	9,042	9,420	+378	利益剰余金 +385
負債純資産合計	14,126	14,413	+287	

(単位：百万円)

キャッシュ・フロー計算書	2015年 4-9月	2016年 4-9月	主な増減要因（カッコ内は前期数値）
営業活動によるCF	105	576	未払消費税等の増減額 △45（△274）
投資活動によるCF	△29	△155	投資有価証券の取得による支出 △298（△496） 投資有価証券の売却及び償還による収入 +203（+493）
財務活動によるCF	△179	△191	配当金の支払額 △188（△176）
現金及び現金同等物期末残高	6,170	6,703	

セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

セグメント名	2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期			前期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益
エンベデッド ソリューション事業	1,563	156	1,280	69	5.5%	△18.1%	△55.2%
I C T イノベーション事業	1,424	20	1,663	140	8.4%	+16.8%	+572.1%
フィナンシャル システム事業	2,012	243	2,029	277	13.7%	+0.9%	+14.3%
ネットワーク ソリューション事業	2,428	174	2,532	229	9.1%	+4.3%	+31.4%
その他事業	725	△ 38	741	23	3.1%	+2.2%	－
連結計	8,154	557	8,247	753	9.1%	+1.1%	35.0%

エンベッドソリューション事業

■ 売上高、営業利益

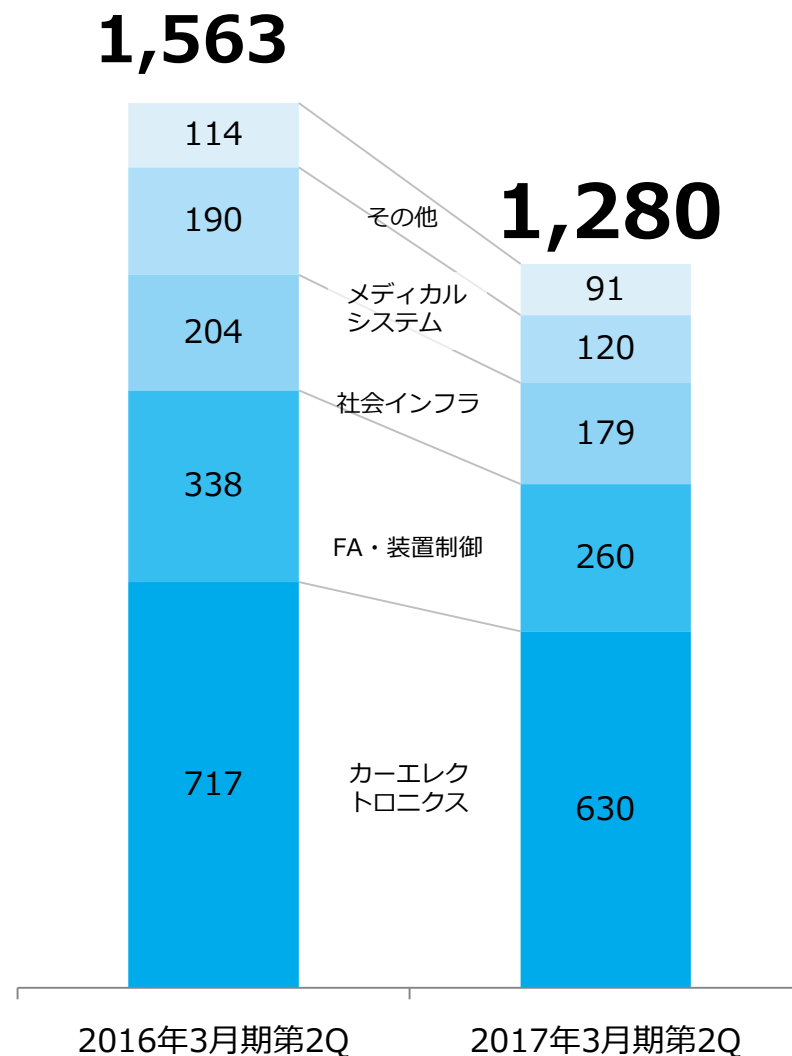
	2016年 3月期 第2四半期	2017年 3月期 第2四半期	前期比
売上高	1,563	1,280	△18.1%
営業利益 (営業利益率)	156 (10.0%)	69 (5.5%)	△55.2%

■ 分野別売上高構成

カーエレクトロニクス	717	630	△12.2%
FA・装置制御	338	260	△23.1%
社会インフラ	204	179	△12.3%
メディカルシステム	190	120	△37.1%
その他	114	91	△19.4%

■ 売上高

(単位：百万円)



ICTイノベーション事業

■ 売上高、営業利益

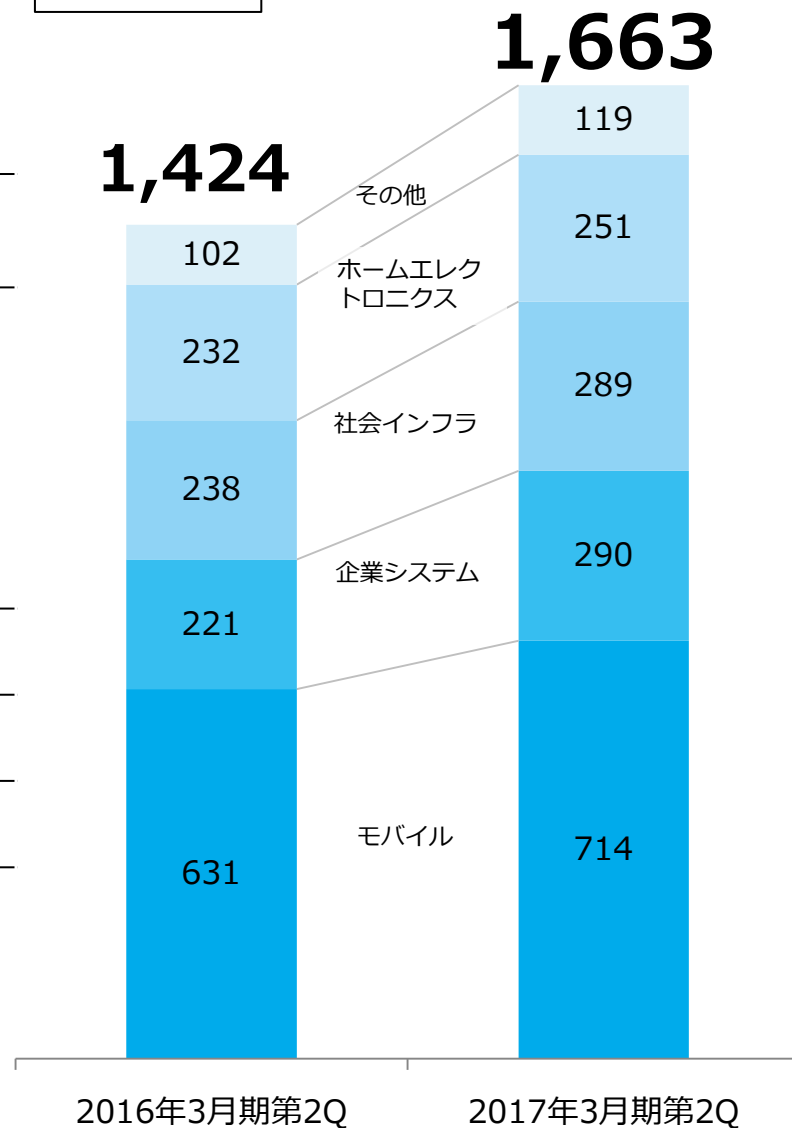
	2016年 3月期 第2四半期	2017年 3月期 第2四半期	前期比
売上高	1,424	1,663	+16.8%
営業利益 (営業利益率)	20 (1.5%)	140 (8.4%)	+572.1%

■ 分野別売上高構成

モバイル	631	714	+13.1%
企業システム	221	290	+31.2%
社会インフラ	238	289	+21.5%
ホームエレクトロ ニクス	232	251	+8.1%
その他	102	119	+17.2%

■ 売上高

(単位：百万円)



フィナンシャルシステム事業

■売上高、営業利益

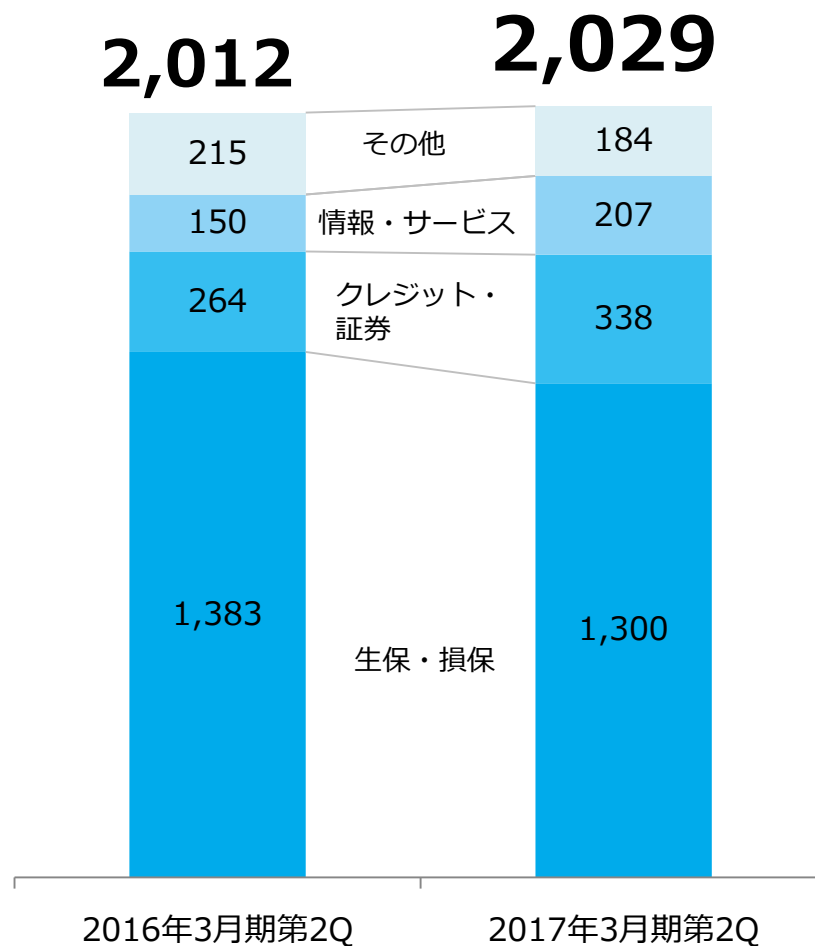
	2016年 3月期 第2四半期	2017年 3月期 第2四半期	前期比
売上高	2,012	2,029	+0.9%
営業利益 (営業利益率)	243 (12.1%)	277 (13.7%)	+14.3%

■分野別売上高構成

生保・損保	1,383	1,300	△6.0%
クレジット・証券	264	338	+28.1%
情報・サービス	150	207	+38.0%
その他	215	184	△14.5%

■売上高

(単位：百万円)



ネットワークソリューション事業

■売上高、営業利益

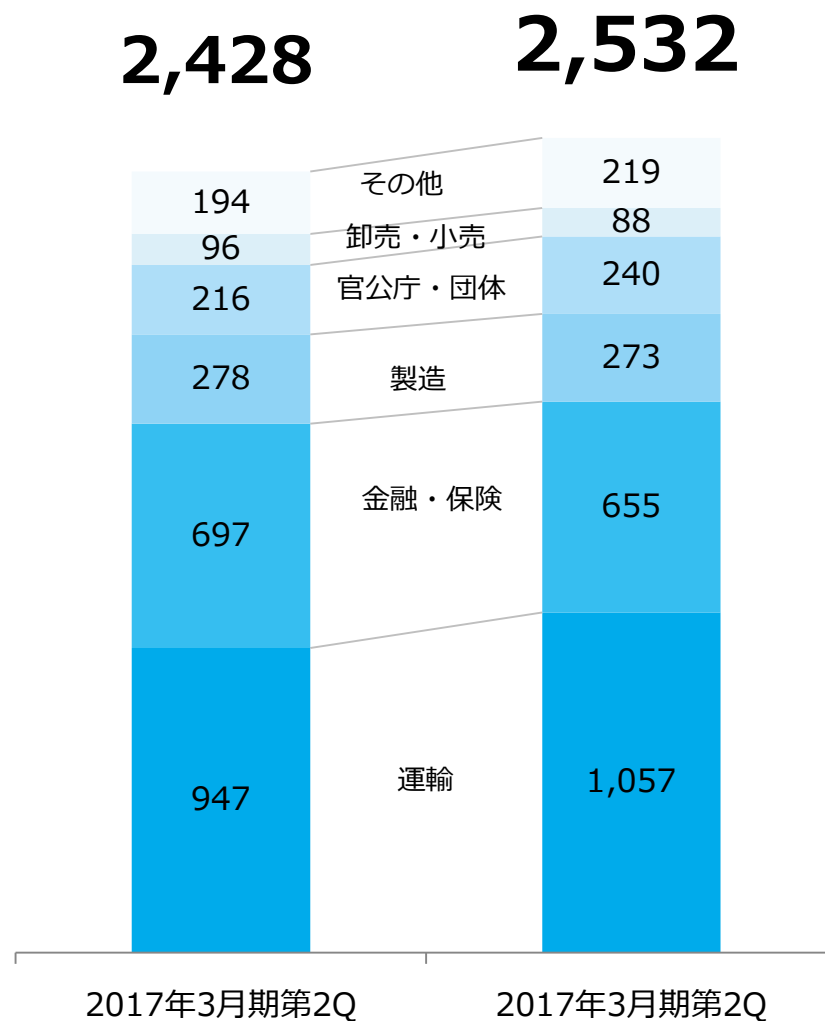
	2016年 3月期 第2四半期	2017年 3月期 第2四半期	前期比
売上高	2,428	2,532	+4.3%
営業利益 (営業利益率)	174 (7.2%)	229 (9.1%)	+31.4%

■分野別売上高構成

運輸	947	1,057	+11.7%
金融・保険	697	655	△6.0%
製造	278	273	△1.8%
官公庁・団体	216	240	+11.2%
卸売・小売	96	88	△7.7%
その他	194	219	+12.4%

■売上高

(単位：百万円)



その他事業

■売上高、営業利益

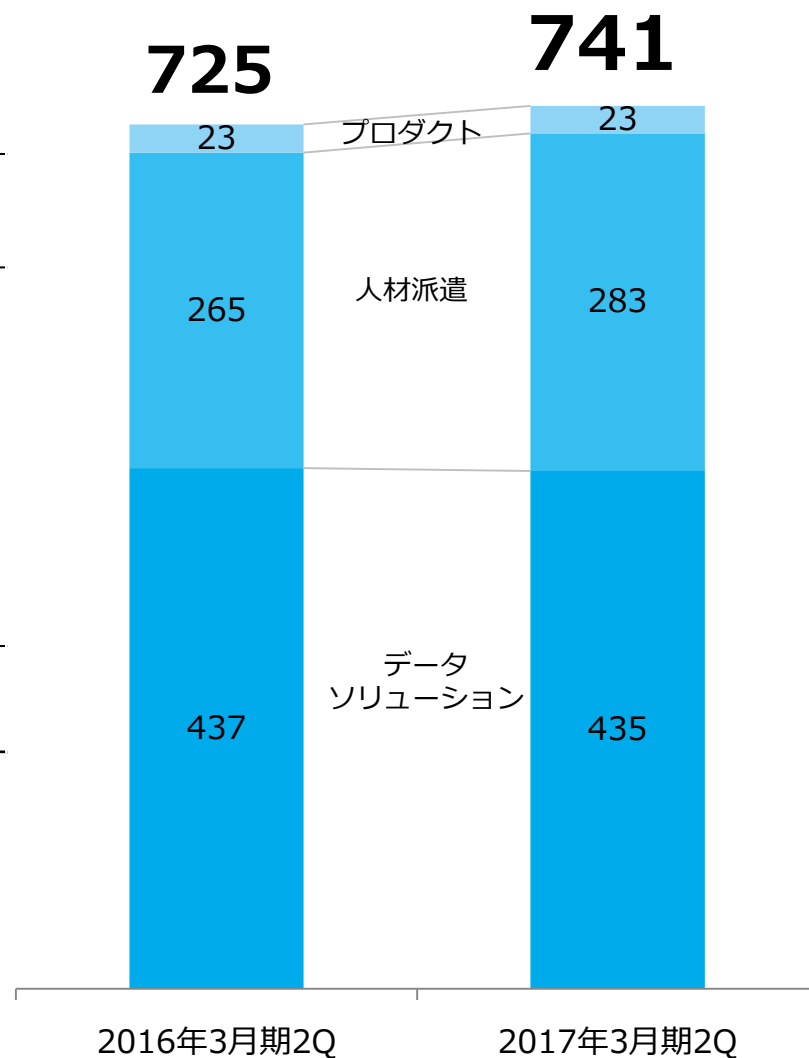
	2016年 3月期 第2四半期	2017年 3月期 第2四半期	前期比
売上高	725	741	+2.2%
営業利益 (営業利益率)	△38 (△5.3%)	23 (3.1%)	—

■分野別売上高構成

データ ソリューション	437	435	△0.6%
人材派遣	265	283	+7.1%
プロダクト	23	23	△2.4%

■売上高

(単位：百万円)



3. 2017年3月期通期見通し

日本経済

- 円高、海外景気の下振懸念等により景気の先行きには不透明感が継続。

IT投資

- IT投資は引続き拡大傾向にあるが、伸び率は鈍化の傾向も見られる。
業種によるバラツキはあるが、大企業は差別化のためのIT投資を選別。
技術者の不足感は継続。

日銀短観（全国企業短期経済観測調査）：2016年9月調査

		調査年月	2016年3月 (最近)	2016年6月 (最近)	2016年9月 (最近) (先行き)	
業況判断DI (%Pt)	大企業		13	12	→ 12	↘ 11
	製造業		6	6	→ 6	→ 6
	非製造業		22	19	↘ 18	↘ 16

		2016年6月 (計画)	2016年9月 (計画)	前回調査比 修正率
ソフトウェア 投資額 (前年度比、%)	大企業	5.3	4.0	▲ 1.2
	製造業	1.3	▲ 0.3	▲ 1.6
	非製造業	7.5	6.4	▲ 1.0

当社グループ の見通し

- 企業のソフトウェア投資の鈍化に伴い、下半期以降の当社グループを取り巻く事業環境は厳しくなるものと想定。

■ 期首に掲げた3つの「主要施策」

① 今年度の注力分野

強みである「大規模かつ長期的なプロジェクトを完遂する能力」を活かして、
更なる取引拡大を目指し、大胆な資源配分・施策展開を実施
⇒大規模かつ長期的なプロジェクト：100名以上もしくはシェアNo.1

② 人材育成

高利益率（営業利益率9%）の中長期的な維持・向上
⇒プロジェクトマネジメント力の強化

③ PM育成推進

現場でビジネスを確実に推進できるPMを中長期的に育成
⇒推進体制・育成プログラムを抜本的に改訂



上記施策は、下半期も継続実施予定

さらに、下半期は、予想される環境変化に先手を打つ施策として、
成長加速に向けた投資を実施。

⇒先端技術研究室の新設、開発用クリーンルーム増設、
技術者獲得や技術者教育研修に係る費用も含め、
総額約88百万円を見込む。

2017年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	2016年 3月期 実績	売上比	2017年 3月期 予想	売上比	増減	前期比
売上高	17,102	—	17,500	—	+398	+2.3%
営業利益	1,544	9.0%	1,575	9.0%	+31	+2.0%
経常利益	1,717	10.0%	1,675	9.6%	△42	△2.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	957	5.6%	1,150	6.6%	+193	+20.2%

セグメント別見通し

(単位：百万円)

セグメント名	2016年3月期 実績		2017年3月期 当初予想		2017年3月期 修正予想		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	営業利益率
エンベデッド ソリューション事業	3,241	379	3,236	332	2,972	203	6.8%
ICT イノベーション事業	3,150	242	3,628	328	3,626	326	9.0%
フィナンシャル システム事業	4,256	595	4,283	504	4,200	560	13.3%
ネットワーク ソリューション事業	4,911	377	4,830	361	5,126	433	8.4%
その他事業	1,543	△ 6	1,522	48	1,575	53	3.4%
連結計	17,102	1,544	17,500	1,575	17,500	1,575	9.0%

セグメント別上期実績／下期見通し

<エンベデッドソリューション事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	1,419	1,280	△ 139	売上	1,816	1,692	△ 124
営業利益	115	69	△ 46	営業利益	216	134	△ 82
営業利益率	8.1%	5.5%		営業利益率	11.9%	7.9%	
【売上】 ・大型案件終了に対し、新規受注でカバーできず 【利益】 ・売上未達に加え、一部PJTで計画遅延による工数増が発生				【売上】 ・新規受注環境を厳しく見込む ・カーエレクトロニクス分野に引き続き注力 【利益】 ・売上減に加え、追加投資の負担額増により予想を見直し			

セグメント別上期実績／下期見通し

<ICTイノベーション事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	1,629	1,663	34	売上	1,999	1,962	△ 37
営業利益	111	140	29	営業利益	215	186	△ 29
営業利益率	6.8%	8.4%		営業利益率	10.8%	9.5%	
【売上】 ・当初予想並み 【利益】 ・増収と案件の採算性改善が貢献				【売上】 ・当初予想より一部顧客の受注減少を見込む 【利益】 ・追加投資の負担額増はあるが、通期で当初予想並みを見込む			

セグメント別上期実績／下期見通し

<フィナンシャルシステム事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	2,041	2,029	△ 12	売上	2,240	2,171	△ 69
営業利益	210	277	67	営業利益	293	283	△ 10
営業利益率	10.3%	13.7%		営業利益率	13.1%	13.0%	
【売上】 ・当初予想並み 【利益】 ・案件の採算性改善が貢献				【売上】 ・当初予想より一部顧客の受注減少を見込む 【利益】 ・新規案件受注が貢献するも、追加投資負担増をまかなえず 予想を見直し			

セグメント別上期実績／下期見通し

<ネットワークソリューション事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	2,381	2,532	151	売上	2,448	2,593	145
営業利益	145	229	84	営業利益	216	204	△ 12
営業利益率	6.1%	9.1%		営業利益率	8.8%	7.9%	
【売上】 ・運輸大手の案件で受注増 【利益】 ・増収と案件の採算性改善が貢献				【売上】 ・上期に引き続き拡大傾向 【利益】 ・売上増加するも、追加投資負担増をまかなえず 予想を見直し			

セグメント別上期実績／下期見通し

<その他事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	699	741	42	売上	823	834	11
営業利益	1	23	22	営業利益	47	30	△ 17
営業利益率	0.1%	3.1%		営業利益率	5.7%	3.6%	
【売上】 ・各分野とも堅調に推移 【利益】 ・採算性の改善が貢献				【売上】 ・引き続き堅調 【利益】 ・追加投資の負担額増はあるが、通期で当初予想並みを見込む			

4. 株式情報

「J-Stock銘柄」への選定

当社株式が「J-Stock銘柄」に選定されました。

＜J-Stock銘柄とは＞

株式会社東京証券取引所より発表される、JASDAQ 市場を代表する企業群として位置づけられる株価指数「J-Stock Index」の構成銘柄。

- JASDAQ 上場企業社数 759 社（2016 年 11 月 9 日現在）のうち、82 社が構成銘柄として選定されています。
- 一部の新聞紙上等での当社株価掲載欄は、「情報・通信」から「J-Stock 銘柄」欄へ変更 されます。

■ 配当金について

2期連続の増配を実施しました。
今後も安定した配当を継続する方針です。

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期 (予想)
年間配当金	45円	47円	50円	50円
連結配当性向	26.3%	22.5%	19.8%	16.5%

付録：データ資料

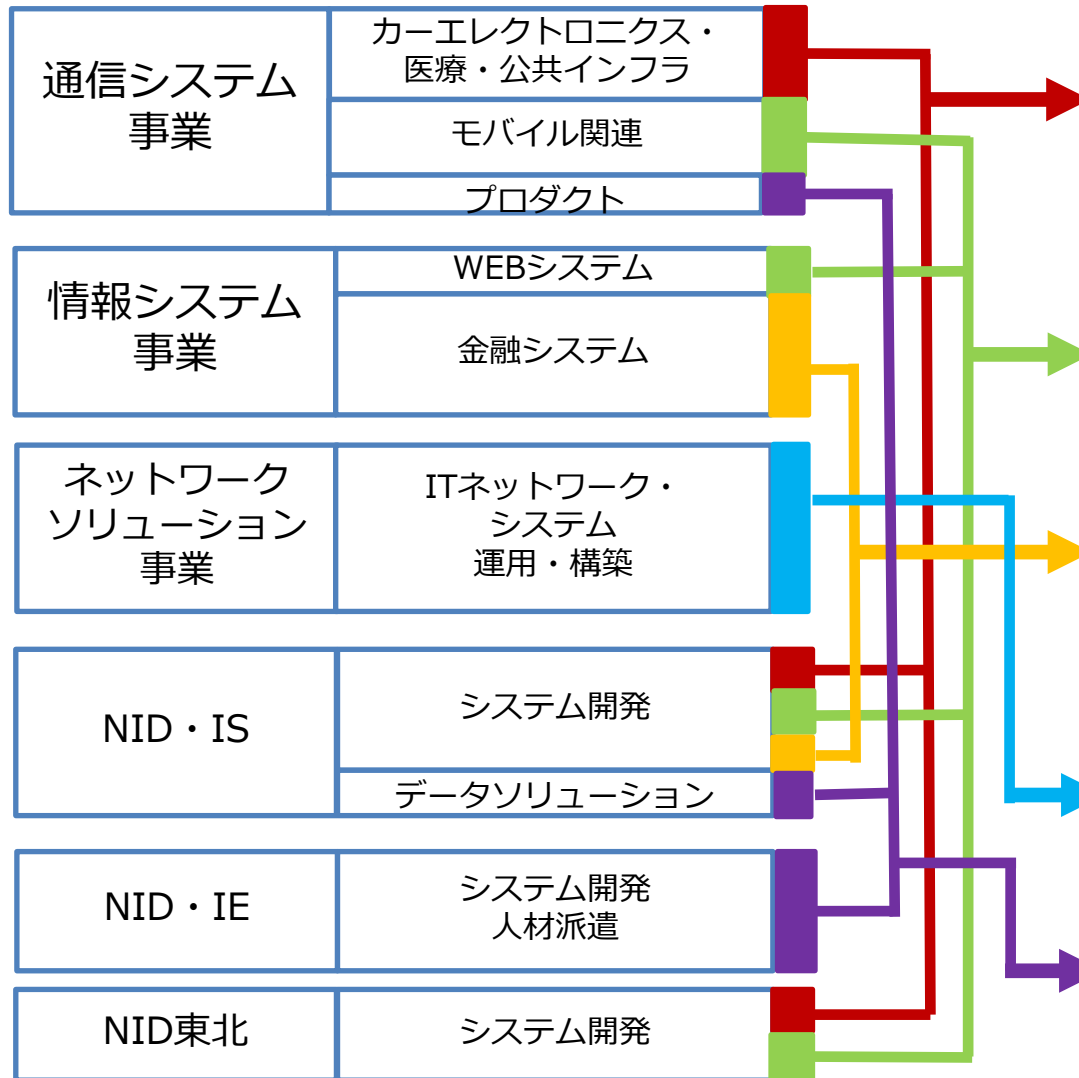
主要な経営指標推移

(単位：百万円)

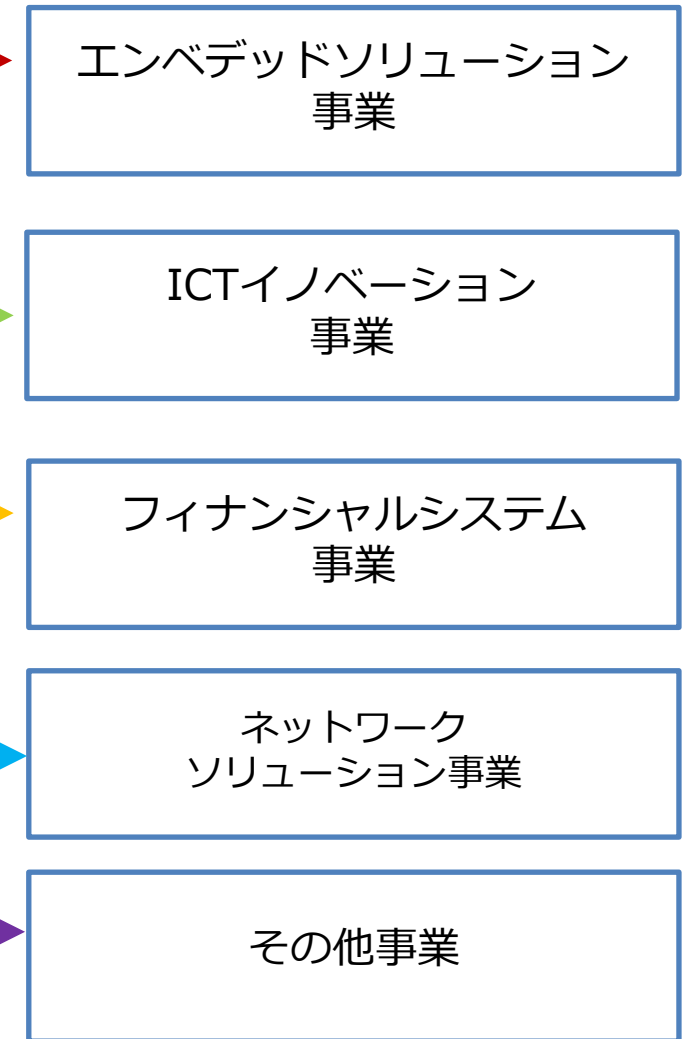
	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期 (予想)	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期
売上高	16,119	16,228	17,102	17,500	8,154	8,247
伸 長 率	(3.8)	(0.7)	(5.4)	(2.3)	(4.9)	(1.1)
営業利益	1,441	1,415	1,544	1,575	557	753
率 (対売上高)	(8.9)	(8.7)	(9.0)	(9.0)	(6.8)	(9.1)
伸 長 率	(42.4)	(△1.8)	(9.1)	(2.0)	(△17.7)	(35.0)
経常利益	1,500	1,558	1,717	1,675	669	806
親会社株式に帰属する 当期 (四半期) 純利益	646	791	957	1,150	464	538
率 (対売上高)	(4.0)	(4.9)	(5.6)	(6.6)	(5.7)	(6.5)
伸 長 率	(10.4)	(22.3)	(21.0)	(20.2)	(9.9)	(15.9)
1株あたり当期 (四半期) 純利益 (EPS)	170.86	209.00	252.82	303.80	122.77	142.34
純資産	7,386	8,348	9,042		8,492	9,420
株主資本利益率 (ROE)	9.0	10.2	11.0			
1株あたり配当額	45円	47円	50円	50円		

セグメント区分の変更

【旧セグメント】



【新セグメント】



先端技術研究室の新設



平成 28 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 エヌ アイ デイ
代 表 者 名 代表取締役社長 小森 俊太郎
(コード番号 : 2349 東証 JASDAQ)
問い合わせ先: 専 務 取 締 役 馬 場 常 雄
電 話 番 号 03 (6221) 6811

組織変更に関するお知らせ

当社は、平成28年9月20日開催の取締役会において、下記のとおり組織変更に関して決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 組織変更

昨今における企業の人工知能（A I）の活用ニーズに対応するため、人工知能（A I）等の先端技術活用の研究を目的として、「先端技術研究室」を新設いたします。

2. 実施日

平成28年10月1日

以上